

令和6年度 上下水道局 主要事業一覧

(1) 「稼げるまち」の実現 ～人も企業も潜在力を開花できるまち～

- ・ 響灘地区等の需要増に伴う工業用水道施設整備 458,194千円
響灘地区における工業用水の需要が増加するため、令和7年度供用開始を目指し、令和4～6年度で本城浄水場内の施設整備及び配水管φ900の整備を約1.1km実施しました。
- ・ インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開 78,706千円
アジアを中心とした国や地域における国際技術協力をビジネスの視点を取り入れるため、国際技術協力を通じた相手国との信頼関係を維持し、また、北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員企業との情報共有を図り、官民が連携した海外水ビジネスを展開しました。
※会員企業の累計受注実績は、平成22年以降、上水道事業・下水道事業の合算で約284億円
- ・ **新規** 行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進 53,983千円
行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大及び古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量へ向けた設計業務等を実施しました。

(2) 「彩りあるまち」の実現 ～輝く個性と楽しさがあふれるまち～

該当なし

(3) 「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

- ・ 上下水道の地震等対策推進事業 9,425,343千円
地震等の災害被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した施設の耐震改修を行いました。
- ・ 浸水対策事業の推進 1,915,654千円
近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図るため、雨水管等の整備を行いました。

(4) その他の取り組み

ア 上下水道施設の強靱化

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進めました。

■上下水道施設の長寿命化と改築・更新 15,409,736千円

上下水道事業を持続していくため、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進めました。

【アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新】

- ・配水管等の更新 6,814,775千円
配水管更新 (L=31.9km)、導送水管更新 (L=0.7km)
- ・浄水施設の更新 1,592,790千円
穴生浄水場東西系受配電設備電気計装工事 など
- ・工業用水道施設の改築更新 《一部再掲》 1,150,388千円
北九州市工業用水道配水管布設替工事 (6-2工区) など
- ・下水道施設の改築更新 4,020,396千円
日明浄化センター特高受変電設備改良 など

【上下水道施設の規模の最適化】

- ・配水ブロックの改善 42,432千円
尾倉、黒川配水池の統廃合
- ・下水道施設の再編 1,068,019千円
皇后崎浄化センターの再構築 など

■豪雨対策の拡充・強化《再掲》 1,915,654千円

近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、効果的に施設整備を進めました。

- ・浸水被害の最小化 1,890,089千円
重点整備地区 (木町二丁目、長野津田、社ノ木) の整備 など

■震災対策の拡充・強化《再掲》 9,425,343千円

大規模な地震が発生した場合においても、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、防災・減災の観点から、施

設の耐震化やバックアップ機能の強化などを図りました。

- ・ 浄水場・配水池の耐震化 366,008 千円
小熊野第一配水池耐震化工事 など
- ・ 水道管路の耐震化《再掲》 6,814,775 千円
配水管等の更新
- ・ 浄化センター、ポンプ場の耐震化 357,600 千円
吉志ポンプ場耐震補強工事 など
- ・ 下水道管渠の耐震化 1,787,236 千円
伊川曾根主要幹線、東二島北湊主要幹線管渠更生 など
- ・ バックアップ機能の強化 99,724 千円
八重洲～城野分岐送水管整備 など

■危機管理体制の充実・強化 397,441 千円

気候変動の影響による自然災害の増加などさまざまな災害リスクに備え、緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保しました。

- ・ 停電対策 144,868 千円
森下分岐非常用発電設備更新電気計装工事
- ・ 災害時における機能確保の推進 16,365 千円
応急給水施設整備工事、マンホールトイレの整備
- ・ 自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実 236,208 千円
内水浸水想定区域図の拡充、雨水タンク助成事業

イ 環境負荷の低減

水環境の向上や、資源の有効利用などによる環境負荷低減を推進しました。

■水質監視強化 28,467 千円

下水道施設の保全や浄化センターの安定的な運転を目的として、下水処理に影響を及ぼす物質の監視強化を図りました。

■省エネルギーの推進 5,040 千円

電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、ポンプ設備の適正化などにより省エネルギー対策を実施しました。

- ・ 浅野町ポンプ場照明器具改良工事 など

ウ 国内外への貢献

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取組を推進し、併せて、本市職員の技術力・実務能力の向上も図りました。

■多様な広域連携の推進《一部再掲》 55,438千円

近隣自治体との連携を強化し、双方にメリットを享受できる広域連携の具体化に向けた取組を推進しました。

また、行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大及び古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量により、経営基盤強化を図りました。

■政策連携団体等との連携強化 1,187,109千円

政策連携団体（(株)北九州ウォーターサービス）との連携を強化するとともに民間事業者の活用を図り、発展的広域化を推進しました。

・宗像地区水道施設維持管理等業務委託

■海外事業の展開《再掲》 78,706千円

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みました。

さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を基に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との官民連携により、本市経済の活性化に繋げるため、海外水ビジネスを推進していきました。

エ DXの推進

■衛星画像とAIを活用した漏水調査 10,890千円

人工衛星から照射されるマイクロ波で、漏水箇所を判定する技術を用いた漏水調査の実証実験を行いました。

■工事立会受付WEBシステムの活用 2,244千円

工事施工前の申請手続きにおいて、立会受付WEBシステムを活用し道路掘削事業者とインフラ事業者（電気・ガス・水道等）が工事情報を共有することで、作業の効率化を図りました。